



# Cisco NX-OS セットアップ ユーティリティの使用法

---

この章では、ハードウェアのインストール後に、基本的な Cisco NX-OS コンフィギュレーションをセットアップする方法について説明します。

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [Cisco NX-OS セットアップ ユーティリティの概要 \(p.2-2\)](#)
- [セットアップ ユーティリティの前提条件 \(p.2-3\)](#)
- [Cisco NX-OS デバイスのセットアップ \(p.2-4\)](#)
- [次の作業 \(p.2-8\)](#)
- [詳細な資料 \(p.2-8\)](#)

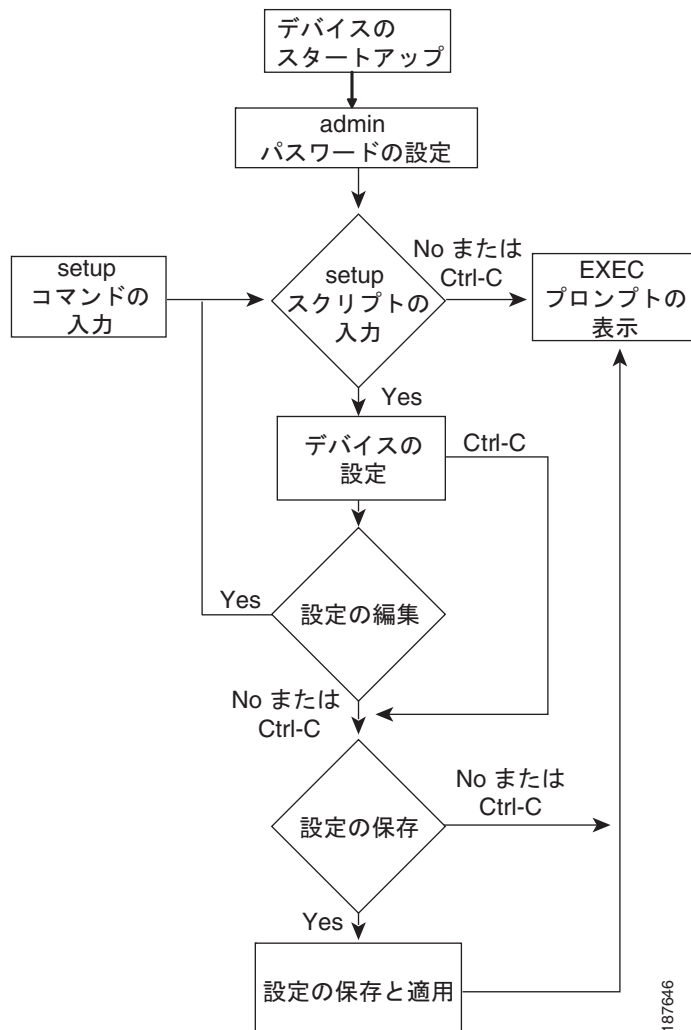
## Cisco NX-OS セットアップユーティリティの概要

Cisco NX-OS セットアップユーティリティは、システムの基本（スタートアップとも呼びます）設定をガイドするインタラクティブな CLI（コマンドライン インターフェイス）モードです。セットアップユーティリティで設定できるのは、システム管理に必要な接続のみです。

セットアップユーティリティを使うと、システム設定ダイアログを使用して初期設定ファイルを作成できます。デバイスの NVRAM に設定ファイルが保存されていない場合、セットアップが自動的に開始されます。初期設定手順がダイアログに表示されます。ファイルを作成したら、CLI を使用して追加設定を実行できます。

任意のプロンプトで **Ctrl-C** を押すと、残りの設定オプションをスキップして、設定手順を先に進めることができます。ただし、管理者用のパスワードの入力は必須の手順であり、省略することはできません。すべての質問に対する回答をスキップする場合は、**Enter** キーを押します。デフォルトの回答がない場合（たとえば、デバイスのホスト名）、デバイスは以前に設定された回答を使用して、次の質問へ移ります。図 2-1 に、セットアップスクリプトの開始方法および終了方法を示します。

図 2-1 セットアップスクリプトフロー



187646



(注) セットアップ ユーティリティは、主にシステムを最初に設定するとき、つまり設定が何も存在しないときに使用します。セットアップ ユーティリティにより、システムは現行の設定値ではなくデフォルト値に戻されます。



(注) セットアップ ユーティリティは、IPv4 のみをサポートします。IPv6 の設定の詳細については、『Cisco NX-OS Interfaces Configuration Guide』 Release 4.0 を参照してください。



(注) SNMP アクセスをイネーブルにするには、必ず IPv4 ルート、IPv4 デフォルト ネットワーク アドレス、および IPv4 デフォルト ゲートウェイ アドレスを設定してください。IPv4 ルーティングをイネーブルにすると、デバイスは IPv4 ルートと IPv4 デフォルト ネットワーク アドレスを使用します。IPv4 ルーティングがディセーブルになっている場合、デバイスは IPv4 デフォルト ゲートウェイ アドレスを使用します。

セットアップ スクリプトは、IPv4 のみをサポートします。IPv6 の設定の詳細については、『Cisco NX-OS Interfaces Configuration Guide』 Release 4.0 を参照してください。

## セットアップユーティリティの前提条件

ネットワーク環境のパスワード方針を作成します。

スーパーバイザ モジュールのコンソール ポートをネットワークに接続します。デュアル スーパーバイザ モジュールを使用している場合は、両方のスーパーバイザ モジュールのコンソール ポートをネットワークに接続します。

スーパーバイザ モジュールのイーサネット管理ポートをネットワークに接続します。デュアル スーパーバイザ モジュールを使用している場合は、両方のスーパーバイザ モジュールのイーサネット管理ポートをネットワークに接続します。

適用可能な場合は、ライセンスの猶予期間を有効にします。ライセンスの詳細については、『Cisco NX-OS Licensing Guide』 Release 4.0 を参照してください。

## Cisco NX-OS デバイスのセットアップ

セットアップユーティリティを使用して Cisco NX-OS デバイスの基本管理を設定するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** デバイスの電源を入れます。

**ステップ 2** 管理者用の新しいパスワードを入力します。



### ヒント

パスワードが脆弱な場合（短くて解読されやすいパスワードなど）、そのパスワード設定は拒否されます。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。必ず大文字、小文字、数字が含まれる 8 文字以上の強固なパスワードを設定してください。

```
Enter the password for "admin": <password>
Confirm the password for "admin":<password>
---- Basic System Configuration Dialog VDC: 1 ----
```

このセットアップユーティリティはシステムの基本設定をガイドします。システム管理のセットアップで設定できるのは、必要な接続のみです。

Cisco Nexus7000 ファミリ デバイスを購入した代理店にすぐに登録してください。登録の失敗は最初のサービスコールの返答に影響することがあります。Nexus7000 デバイスはサポート サービスの権利を得るために登録する必要があります。

任意の時にダイアログをスキップするために入力してください。Ctrl-C を押して残りのダイアログをスキップします。

**ステップ 3** `yes` と入力して、セットアップモードを開始します。

```
Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no): yes
```

**ステップ 4** `yes` と入力して（デフォルトは `no`）、追加のアカウントを作成します。

```
Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no): yes
```



### (注)

ユーザ ログイン ID には、数字は含められません。

a. ユーザ ログイン ID を入力します。

```
Enter the User login Id : user_login
```

b. ユーザ パスワードを入力します。

```
Enter the password for "user1": user_password
Confirm the password for "user1": user_password
```

c. デフォルトのユーザ ロールを入力します。

```
Enter the user role (network-operator|network-admin|vdc-operator|vdc-admin)
[network-operator]: default_user_role
```

デフォルトのユーザ ロールの詳細については、『*Cisco NX-OS Security Configuration Guide*』 Release 4.0 を参照してください。

**ステップ 5** `yes` と入力して、SNMP コミュニティ スtring を設定します。

```
Configure read-only SNMP community string (yes/no) [n]:yes
SNMP community string :snmp_community_string
```

SNMP の詳細については、『*Cisco NX-OS System Management Configuration Guide*』 Release 4.0 を参照してください。

**ステップ 6** デバイス名を入力します (デフォルト名は `switch`)。

```
Enter the switch name: switch_name
```

**ステップ 7** `yes` と入力して、ライセンス猶予期間を有効にします。



(注) 猶予期間を有効にすると、Cisco TrustSec を除いたライセンス機能をテストすることが可能になります。Cisco TrustSec には、Advanced Services ライセンスが必要です。猶予期間は 120 日間です。ライセンスを受けた機能を最初に設定したときから始まり、ライセンスのすべての機能が無効になった時点で終了します。猶予期間の終了後に、ライセンスを受けた機能にアクセスするにはライセンスを購入する必要があります。ライセンスの詳細については、『*Cisco NX-OS Licensing Guide*』 Release 4.0 を参照してください。

```
Enable license grace period? (yes/no) [n]: yes
```

**ステップ 8** `yes` と入力して、帯域外管理を設定します。これで、`mgmt0 IPv4` アドレスとサブネット マスクを入力できます。



(注) セットアップユーティリティで設定できるのは、IPv4 アドレスのみです。IPv6 の設定の詳細については、『*Cisco NX-OS Interfaces Configuration Guide*』 Release 4.0 を参照してください。

```
Continue with Out-of-band (mgmt0) management configuration? [yes/no]: yes
Mgmt0 IPv4 address: mgmt0_ip_address
Mgmt0 IPv4 netmask: mgmt0_subnet_mask
```

**ステップ 9** `yes` と入力して、IPv4 デフォルト ゲートウェイ (推奨) を設定します。これで、IP アドレスを入力できます。

```
Configure the default-gateway: (yes/no) [y]: yes
IPv4 address of the default-gateway: default_gateway
```

**ステップ 10** `yes` と入力して、スタティック ルート、デフォルト ネットワーク、DNS、ドメイン名などの高度な IP オプションを設定します。

```
Configure Advanced IP options (yes/no)? [n]: yes
```

**ステップ 11** **yes** と入力して、スタティック ルート（推奨）を設定します。これで、送信先プレフィクス、送信先プレフィクス マスク、ネクストホップ IP アドレスを入力できます。

```
Configure static route: (yes/no) [y]: yes
Destination prefix: dest_prefix
Destination prefix mask: dest_mask
Next hop ip address: next_hop_address
```

**ステップ 12** **yes** と入力して、デフォルト ネットワーク（推奨）を設定します。これで、IPv4 アドレスを入力できます。



**(注)** IPv4 デフォルト ネットワーク アドレスは、[ステップ 11](#) の送信先プレフィクスと同じです。

```
Configure the default network: (yes/no) [y]: yes
Default network IP address [dest_prefix]: dest_prefix
```

**ステップ 13** **yes** と入力して、DNS IPv4 アドレスを設定します。これで、アドレスを入力できます。

```
Configure the DNS IP address? (yes/no) [y]: yes
DNS IP address: ipv4_address
```

**ステップ 14** **yes** と入力して、デフォルトのドメイン名を設定します。これで、名前を入力できます。

```
Configure the default domain name? (yes/no) [y]: yes
Default domain name: name
```

**ステップ 15** **yes** と入力して、Telnet サービスをイネーブルにします。

```
Enable the telnet service? (yes/no) [y]: yes
```

**ステップ 16** **yes** と入力して、SSH サービスをイネーブルにします。これで、キーのタイプとキービット数を入力できます。

詳細については、『*Cisco NX-OS Security Configuration Guide*』 Release 4.0 を参照してください。

```
Enable the ssh service? (yes/no) [y]: yes
Type of ssh key you would like to generate (dsa/rsa) : key_type
Number of key bits <768-2048> : number_of_bits
```

**ステップ 17** **yes** と入力して、NTP サーバを設定します。これで、IP アドレスを入力できます。詳細については、『*Cisco NX-OS System Management Configuration Guide*』 Release 4.0 を参照してください。

```
Configure NTP server? (yes/no) [n]: yes
NTP server IP address: ntp_server_IP_address
```

**ステップ 18** デフォルト インターフェイス レイヤ（L2 または L3）を指定します。

```
Configure default interface layer (L3/L2) [L3]: interface_layer
```

**ステップ 19** デフォルト スイッチポート インターフェイスの状態 (shutdown または no shutdown) を入力します。shutdown インターフェイスは、管理上のダウン状態です。詳細については、『*Cisco NX-OS Interfaces Configuration Guide*』 Release 4.0 を参照してください。

```
Configure default switchport interface state (shut/noshut) [shut]: default_state
```

**ステップ 20** Control Plane Policing (CoPP; コントロールプレーン ポリシング) のベストプラクティス プロファイルを入力します。詳細については、『*Cisco NX-OS Security Configuration Guide*』 Release 4.0 を参照してください。

```
Configure best practices CoPP profile (strict/moderate/lenient/none) [strict]: policy
```

**ステップ 21** yes と入力して、現在のスーパーバイザの CMP を設定してから、IP アドレス、ネットマスク、およびデフォルト ゲートウェイ IP を入力します。詳細については、『*Cisco Nexus 7000 Series Connectivity Management Processor Configuration Guide*』 を参照してください。

```
Configure CMP processor on current sup (slot 5)? (yes/no) [y]: yes
cmp-mgmt IPv4 address : IP_address
cmp-mgmt IPv4 netmask : net_mask
IPv4 address of the default gateway : default_gateway
```

**ステップ 22** yes と入力して、冗長スーパーバイザの CMP を設定します。これで、IP アドレス、ネットマスク、デフォルト ゲートウェイ IP を入力できます。

```
Configure CMP processor on current sup (slot 6)? (yes/no) [y]: yes
cmp-mgmt IPv4 address : ip_address
cmp-mgmt IPv4 netmask : net_mask
IPv4 address of the default gateway : default_gateway
```

これですべての設定がシステムに収集されました。設定を編集するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

**ステップ 23** no と入力して、次のステップへ進みます。yes と入力すると、セットアップ ユーティリティは [ステップ 3](#) に戻り、各ステップを繰り返します。

```
Would you like to edit the configuration?(yes/no) [n]:no
```

**ステップ 24** yes と入力すると、この設定が使用され、保存されます。

```
Use this configuration and save it?(yes/no) [y]:Yes
```

**注意**

ここで設定を保存しておかないと、次のデバイス起動時に設定が更新されません。新しい設定を保存するには、yes と入力します。これによって、キックスタートイメージとシステムイメージのブート変数も自動的に設定されます。

## 次の作業

CLI についての理解を深めるために、第 3 章「CLI の概要」に進みます。

## 詳細な資料

図 1 の実装に関連する詳細情報は、次のとおりです。

- [関連資料 \(p.2-8\)](#)

## 関連資料

関連トピック	マニュアル タイトル
ライセンス	『Cisco NX-OS Licensing Guide』 Release 4.0
コマンド リファレンス	『Cisco NX-OS Fundamentals Command Reference』 Release 4.0
CMP	『Cisco Nexus 7000 Series Connectivity Management Processor Configuration Guide』
SSH および Telnet	『Cisco NX-OS Security Configuration Guide』 Release 4.0
ユーザ ロール	『Cisco NX-OS Security Configuration Guide』 Release 4.0
IPv4 および IPv6	『Cisco NX-OS Interfaces Configuration Guide』 Release 4.0
SNMP および NTP	『Cisco NX-OS System Management Configuration Guide』 Release 4.0